

情報提供

鈴木 亮

JCN 地域駐在員福島

○東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)

・2014年11月16日現在:637団体
(会員団体:455・協力団体:182)

・広域避難者支援団体の
全国的ネットワークおよび情報発信支援

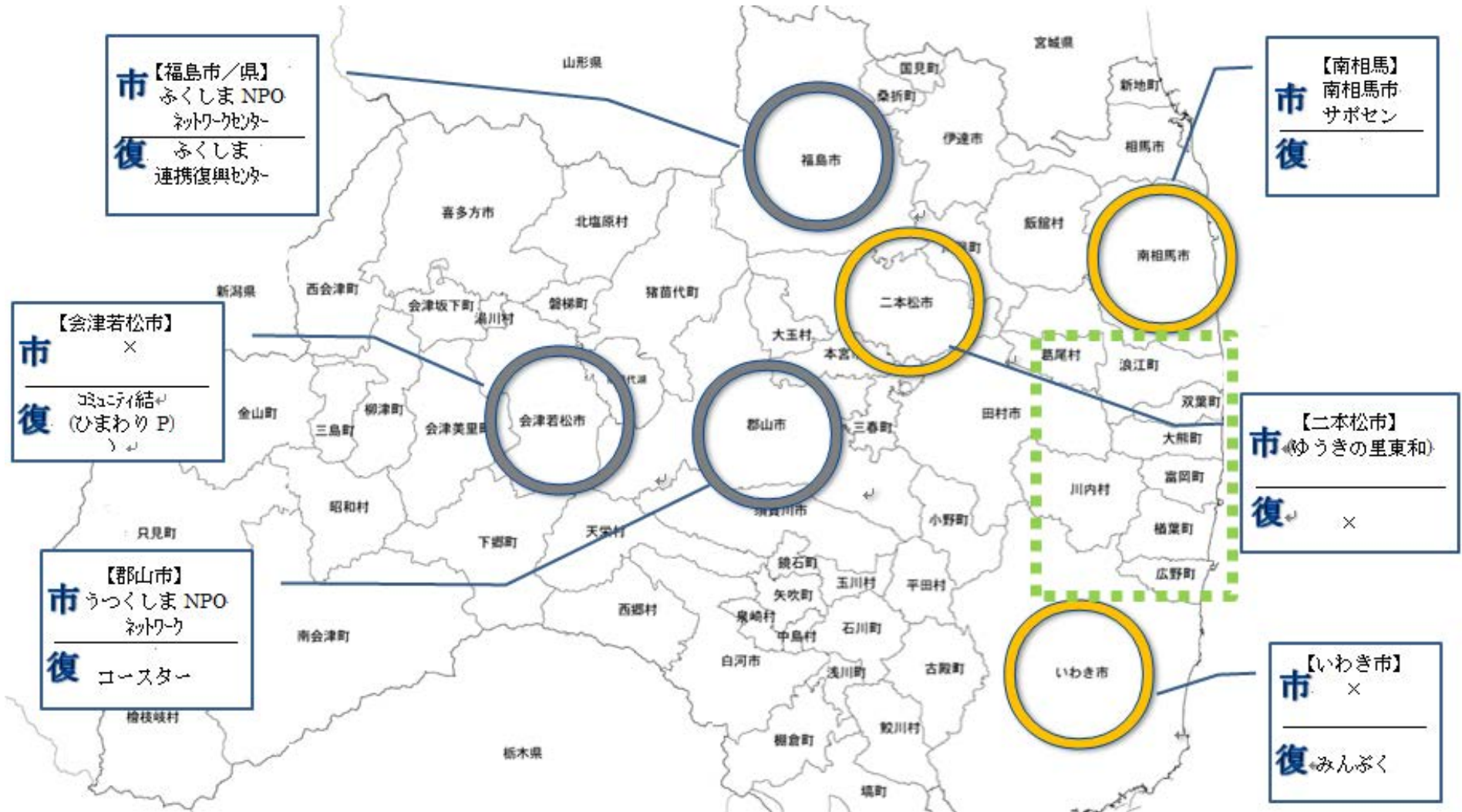
・東京における復興関連省庁との
定期協議を通じた提言・対話

・福島、宮城、岩手 3県に駐在員を配置
地元ニーズと外部支援・協働のつなぎ

・福島では「現地会議」を8回開催
ケース検討会議、JCNレポートなど



福島県の地域ごとの「市民活動サポートセンター」と「復興に特化したNPOネットワーク」の現状



今、復興を前に進めるために

町村

市

県

●NPOは「復興系」と「市民活動系」で地域内で連携出来ているか？

●社協は市町村の縦横で、必要な連携分担が出来ているか？

●役場は縦割りや平等主義にとらわれすぎていないか？

●その上で、NPO・社協・役場は制度的な連携ができていないか？

復興の担い手ごとの制度連携を模索する

役場

社協

中間
支援

NPO



ふくしま連携復興センター

復興庁
コーディネー
ター事業

復興支援員

- 双葉郡自治体を
中心に80名～
- 専門性を活かした
住民への復興サービス

生活支援 相談員

- 市町村社協による
見守り活動
- 生活困窮者、
要支援者を支援

生活困窮者
自立支援制度

コミュニティ交 流員

- 復興公営住宅
の入居者、周辺住
民のコミュニティづ
くりを支援



社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

はあとふる
ふくしま

みんなが復興の主役!

みんなふく

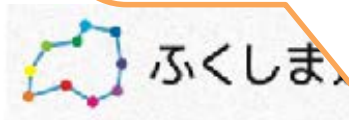


県域

数ある制度が連携がうまくいかないのはなぜ？
相手を知らなすぎる？(NPO・企業・金融 etc..)



応援されやすい/しやすい関係づくり
組織同士でなく人同士・●●のための連携



ター

復興支援員

- 双葉郡自治体を
中心に80名～
- 専門性を活かした
住民への復興サービス

生活支援 相談員

- 市町村社協による
見守り活動
- 生活困窮者、
要支援者を支援

コミュニティ 交流員

- 復興公営住宅
の入居者、周辺
住民のコミュニ
ティづくりを支援



社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

はあとふる
ふくしま

みんなが復興の主役!

みんなふく



南相馬①



ふくしま連携復興センター

どうやってSOSを拾う？
拾った後、誰がやる？



想いある人材はいる
動く組織同士、協働する

生活支援 相談員

- 市町村社協による見守り活動
- 生活困窮者、要支援者を支援

復興支援員

- 双葉郡自治体を中心に80名～
- 専門性を活かした住民への復興サービス

コミュニティ 交流員

- 復興公営住宅の入居者、周辺住民のコミュニティづくりを支援



社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

はあとふる
ふくしま

みんなが復興の主役!

みんなのふく



多様なつながりを生む仕組みがない？
仕組みはあってもまだまだ弱い？



改めて新しい人が入れる連絡会が必要？
外の力も必要？

南相馬②